

2012年10月12日(金)～14日(日) 剣山&石鎚山

二年前からクマさん会の行動予定にあがっていた四国の剣山&石鎚山登山が、今年やっと実現しました。参加者は岡部さん、石井さん、小野寺さん、吉松の4人。石井さん、吉松共通の松山在住の遊び&飲み仲間も途中から馳せ参じてくれて、愉快な四国行となりました。

10月12日(金) 曇 「剣山登山」 レポート by 吉松

岡部さん、小野寺さん、吉松の3人は、6時50分ごろ羽田空港日本航空センターで待ち合わせ、7時25分発JAL1431便に搭乗して一路徳島に向かいました。石井さんは高松の昔の仲間と会うために一日早く出立し、徳島空港で合流することになりました。

8時40分徳島空港に到着して4人が合流し、長距離移動に備えて大きめの車種「カローラフィーダー」をトヨタレンタカーで借り、いよいよ剣山に向けて出発しました。



徳島市内から徳島自動車道に乗り、快適に西に向かって走る。

ここ2,3日は午後になると雨がぱらついているとの情報があった。厚い雲が広がっているものの今のところ雨は降っていない。



徳島自動車道美馬インターを降りて、ここからは剣山を目指してひたすら国道438号線を走ることになった。

事前に道路事情を調べてくれていた石井さんによると、剣山に行くにはもうひとつの国道439号線を利用することも可能らしいが、こちらは狭くて未整備な箇所だらけの道路で「日本3大酷道」のひとつに数えられているそうだ。

運転手泣かせではあるが、まだ438号線のほうがましとのことであった。



たとえばこの写真。これも歴とした国道438号線の一部だ。

この438号線も、部分々々によっては不名誉にも「酷道」と呼ばれている箇所が多いのだそうだ。



「酷道」にも、こんな名も知らぬ美しい滝があった。



11時30分、国道の酷さに悪態をついているうちに、剣山登山リフト「見の越駅」に到着した。既に標高は1420mだ。

服装を整え、長い車中で硬くなった身体を伸ばして、いよいよ剣山山頂を目指す。



重い荷物は車に置いて、軽装でリフトに。あいにく霧が出てきて視界が悪くなり始めた。



金山紅葉とまでにはなっていないが、リフト沿いには真っ赤に色づいた木々があった。



15分でリフト終着の西島駅(標高 1750m)へ。

霧に加えて少し風も出てきたので、体感気温は大分下がってきた。防寒対策を済ませて集合写真一枚。



西島駅右側に行ったところにあるこの木造りの鳥居は、「大剣道コース」に向かう登山口。山頂まで1200m、約60分のコース。



我々は西島駅から左側に向かう「尾根道コース」をとった。山頂まで960メートル、約40分。

12時5分、いざ出発。



道端に咲くハクサンフーロ（左上）とトリカブト（右下）。





霧が深くなってきて遠望が難しくなってきた。登山道の木々の紅葉を楽しみながら登ることにした。



霧の登山道で紅葉を愛でる。



「刀掛けの松」の標識。

由来によれば、

「平家の落人安徳天皇が、平家の隆盛祈願に「草薙の剣」を剣山頂上の大岩に納めた。剣山登頂途中の休息時に「草薙の剣」を持った従者が、流れている汗を拭うこともせず威儀を正している姿を天皇がみて、剣を置いて汗を拭くよう声をかけた。それ以来「刀掛けの松」と呼ばれている」とのこと。



霧の木道を登る。

そろそろ昼食時ではあったが、寒くてしかも霧で足元が良くないので、「頂上ヒュッテ」で温かいものを食べることにした。



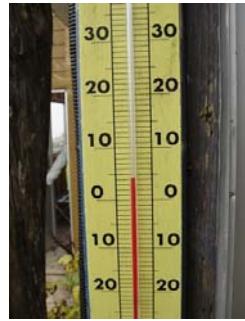
木道の先に鳥居が見えてきた。剣山本宮の鳥居だ。



鳥居を過ぎると、その先に建物がぼんやりと見えてきた。



12時30分、剣山本宮宝蔵石神社に到着。



まずは本宮に隣接する「頂上ヒュッテ」で昼食をとり、すっかり冷えきってしまった身体を温めることにした。寒いはずだ、気温は5度を下回っている。



お世辞にも美味しいとは言えなかつたが、暖かいことが何よりのご馳走だ。うどん・そば・おでんなどを食べて腹を満たした。身体もやっとホカホカとしてきた。



国道438号線スタート地点で休憩した駅の道で、石井さんが見立て買ってくれた、地元手作りの「よもぎ餅」が殊の外旨かった。



暖かいヒュッテを離れ難かったが、勇気を出して10分ほどで着く山頂を目指して出発。

写真は、「頂上ヒュッテ」すぐ上の小さな祠。



山頂付近は益々霧が深くなり、時折強い風も吹いてきて、折角の剣山国定公園も人気がない。



1時10分、剣山山頂到着(1955m)。急いで山頂の標示杭をバックに記念写真を撮る。

寒そうな小生、吹き飛ばされないように帽子を押さえる岡部さん、風や寒さにも負けず笑顔の小野寺さん、カメラの自動シャッターに遅れまいと慌てて木道に滑ってしまった石井さんの4雄姿。

(注釈；石井さんは滑ったのではなく、剣山山頂の杭が見えなくなるので、寝そべって写真に入るしか手がなかったのであります。石井さんの名誉のために、ここに注釈を書き加

えておきます。)



風が吹き抜ける山頂を急ぎ立ち去った。下りは「遊歩道コース」をとった。



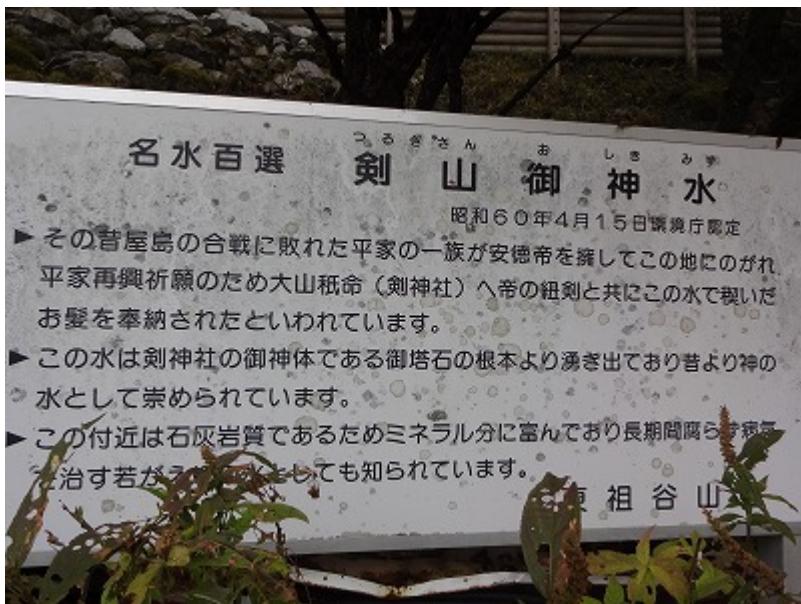
暫く下ると、奇岩「鶴岩亀岩」が現れた。山に遮られて、やっと風も気にならなくなってきた。

山頂とは打って変わって、ゆっくりと写真を撮ることが出来た。小生が女性に囲まれて一枚、パチリ。そのまま歩きだそうとする小生に向かって、石井氏が「俺はどうなってんだ！」と不満顔なので、あわてて女性に囲まれた石井さんも一枚、パチリ。

(反省；何回か写真撮影に関するこのようなやり取りがあり、小生は深く反省しました。以降の行程ではまずはかくのごときミスティクは無かったかと思います。

もっとも、最終日の松山散策の折に、小生はカメラも携帯電話も持たずに行動をして、小野寺さんにすっかり呆れられましたことを、ここに謹んで報告いたします。)





途中、日本名水百選に入っている湧水「剣山御神水」を飲む。



山に囲まれて風が弱まり、時折日温かい差しもさしてきた。



「遊歩道コース」の名の通り、木々を眺めながらのんびりと下ることが出来た。



振り返れば、霧で隠れていた山の紅葉も現れてきた。



道沿いの紅葉。



遠くに目をやると、連なる徳島の山々も微かにみえる。



を目指す登山リフト「西島駅」まで、270mの標識が出てきた。



登山リフト「西島駅」に到着（14時）。



下りリフトに乗って、「見の越駅」へ。ちなみに、往復乗車券は1800円也。



リフトから眺めた紅葉。遠くに見える道が国道438号線。



14時30分に「見の越」を出発。朝来た国道438号線をそのまま引き返し、再び美馬インターから徳島自動車道に乗り、更に松山自動車道に乗り継いで、走り続けることほぼ4時間。18時20分に本日の宿泊先「国民宿舎 面河」に到着した。

明日我々と一緒に石鎚山に登ってくれる、永井源一郎、三鈴夫妻は既に宿舎に入っていて、我々4人を迎えてくれた。風呂は後回しにして、早速夕食。今日の無事と明日の快晴を祈念してビールで乾杯！



“謎のスパイダーマン、石鎚山に現る！！”

明日は、西日本一高い靈峰「石鎚山」に挑戦します。何故か石鎚山に「スパイダーマン」が現れたのであります。そのお話しは13日のHPで紹介します。

COMING SOON、お楽しみに！！！、